

# CopeLab.

コペラボ

## 研究紹介セミナー

研究と  
創造を  
つむぐ。

ライフサイエンス分野において「今まで考えもつかなかった研究」、  
「今後、大きなイノベーションを起こす可能性がある研究」に取り組んでいる第一線の研究者から、  
最先端研究者のご紹介で繋ぐ、リレー形式のシリーズセミナーです。  
研究内容や、その目標に向けた取り組みについてご講演いただきます。

オンライン講座

**Zoom**  
ウェビナー**無料**

### 開催日程

第 53 回 2026年1/15(木) 17時～18時

第 54 回 2026年1/22(木) 17時～18時

### お申込み

右記の二次元コードからアクセスしお申し込みください

二次元コード(Peatixサイト)から申込みできない方はメールでお問い合わせください

メールアドレス: [event@copelcs.jp](mailto:event@copelcs.jp)

第 53 回



第 54 回



### 講師紹介

第 53 回 桑 和彦 氏

名古屋市立大学 大学院薬学研究科 神経薬理学分野  
教授

#### 概日リズム睡眠覚醒障害の新展開と動物モデル

不登校の契機や遷延化要因になる概日リズム睡眠覚醒障害が若年者層で増加している。概日リズムと明暗リズムの解離が病因だが、最近、概日リズムは正常で睡眠覚醒リズムのみが解離する例もあることが判明し、新規の治療戦略が求められている。その探索のため、マウスを用いて樹立した新規動物モデルを紹介する。

第 54 回 樽野 陽幸 氏

京都大学大学院医学研究科 分子細胞生理学 教授  
京都府立医科大学大学院医学研究科 細胞生理学 教授

#### チャネルシナプスの発見とその生命機能の探究

これまで神経細胞間の情報連絡の手段として開口分泌による伝達物質の放出が知られてきた。近年、味細胞が特殊な神経伝達機構—チャネルシナプス—をもつことが明らかとなった。ここでは、イオンチャネルのポアが伝達物質の放出経路として機能する。さらに最近、このシナプスが喉で咳や嚥下などの気道防御反射を担うことも明らかとなった。第2の化学シナプスであるチャネルシナプスに関する研究の経緯と最新の知見を紹介する。

主催：株式会社COPELコンサルティング 後援：一般社団法人日本疲労学会

次回予告

第 55 回 2026年2月5日(木) 千原 崇裕 氏 (広島大学大学院統合生命科学研究科 教授)

第 56 回 2026年2月19日(木) 山口 裕也 氏 (一般社団法人School Transformation Networking 代表理事)